

取り組みが始まってもうすぐ一年 「有中学区小中一貫教育」

義務教育小中学校9年間のスパンで、子どもたちをどのように育てるか！

海老名市、そして、神奈川県と文科省の指定を受けて、昨年4月から始まった「有中学区小中一貫教育」。有馬地区の子どもたちの「豊かな心」と「学力向上」をめざして、ここまで取り組んできました。キーワードは、人のつながりを創ることと学びのつながりを創ることです。

取り組んできたことは、

- ・ 乗り入れ授業（中学校の先生が小学校で授業：算数、図工、英語）
- ・ 先生同士が互いの授業を見合い研究協議会に参加
- ・ 研修会講演会を実施（4校の教員対象、地域や保護者対象）
- ・ ありまっ子スクールでブラスバンド部と合唱部の発表
- ・ 有中3年生の合唱祭りハーサル鑑賞（3校の6年生）
- ・ 3小学校で有中生があいさつ運動に参加、等です。

今年度の取り組みを反省し課題を整理して、来年度に向けてよりよい取り組みにしていきたいと思えます。



お兄さんお姉さんと
一緒にあいさつ運動

「有馬中職場体験」

2年生の生徒さんが、1・2年生のクラスに入り、よい交流をすることができました。

2016. 2. 3~4

3年火おこし体験



「おもち焼けるかなあ。」
「なかなか火がつかないよ！」

1月19日（火）に、3年生が七輪で炭に火をおこし、お餅を焼いて食べました。

火がおこらなければ、堅いお餅を食べなくてはならないとあって、みんな必死で火をおこしました。家のガスコンロのように、簡単に火加減もできないので、焦げないように焼くのは難しいこともよい体験です。電気やガスでの生活に慣れている子どもたちにとっては、一つ一つのことが驚きであり、貴重な体験になります。

グループのみんなと協力し、家とは違った美味しいお餅に、笑顔が溢れていました。



すてきなダンスの発表

2月2日（火）の昼休み、ダンスクラブの発表がありました。プロのダンサーのように、見事なステップで踊り、みんなから大きな拍手をもらいました。



長寿会の皆さんといっしょに昔遊び

「じょうず、じょうず。」

慣れない手つきでお手玉を投げていますが、思うようにはいきません。1月25日（月）に、長寿会の皆さんにお越しいただき、1年生が昔遊びの体験をしました。

独楽回し、福笑い、おはじき、けん玉、竹馬など、昔からある日本の遊びをいっしょに楽しむことができました。



行事予定

2月	9日(火)	1年生と保育園との交流
	15日(月)	音楽朝会 5.6年ひまわり級授業参観・懇談会
	16日(火)	4校支援級合同レク
	17日(水)	3.4年授業参観・懇談会
	18日(木)	職員登校指導
	19日(金)	1.2年授業参観・懇談会
	22日(月)	児童朝会 委員会活動
	26日(金)	小中連携授業参観・懇談会



春はもうそこまで...

「校庭に咲いた“梅の花”」

2016. 2. 3撮影

ありまの歴史15

昭和の頃の子どもたち(二)

— 一百周年記念誌より —



「尋常小學校で使っていた教科書」

この頃(昭和15年)の子どもたちは、メンコ、独楽回し、チャンバラごっこ、兵隊ごっこ等をして遊んでいました。

また、漫画では、「ノラクロ」が流行していて、本の回し読みをしました。お正月には新しいたび、下駄をはいて神社にお参りに行き、お餅を食べたことがうれしく、とても懐かしく思い出されます。

昭和15年からは、国民学校となりました。最初の国語の教科書は「さいた、さいた、さくらがさいた」を使用しました。

有馬小學校は、そろばんがとても優秀でした。軍隊教育では1クラス10人くらいのグループで6班くらいに分かれ、信号、行進などを教えてもらいました。教科として、国語、算数、修身(行いを正しく、身を修め整える)、体操図画、農業、唱歌などがあり、5、6年になると地理、国史、理科が加わりました。通信簿は、10段階から「優、良、可」に変わりました。

尺八・琴の体験(6年生)



「音が出たあ！」

丁寧に吹き方を教えていただき、尺八からようやく音が出ました。見ているのとやってみるのとでは、大きな違いがありました。

1月22日(金)に、「山びこ静山会」の方々においでいただき、日本の伝統的な楽器である「琴」と「尺八」の体験が行われました。6年生全員がそれぞれの楽器を体験してもらいました。琴は、「春の海」のオープニングの演奏をしました。

「校長先生もいかがですか？」

とお声をかけていただき、私

も体験することができました。琴を演奏するときは、指で弦を直接弾くのではなく、爪を指にはめて弾きます。爪は、右手の親指・人さし指・中指の3本にのみ付けますが、爪をつけるとさらに感覚が伝わりにくく、弦を弾く強さやリズムがとてもとりにくいことも体感することができました。

琴と尺八を実際に体験することで、日本の伝統的な文化を大切に作る心が育って欲しいと思います。

